

平成 25 年度社会貢献プロジェクト

発達障害児を養育中の家族のエンパワメントを促進するための取り組み

わきみず

浦水理恵(筑波大学医学医療系・准教授)

宮本信也(筑波大学人間系・教授)

藤岡寛(つくば国際大学医療保健学部・准教授)

家島厚(茨城県立福祉医療センター・センター長)

1. 背景

エンパワメントという概念は米国で 1980 年代、英国では 1990 年代より保健社会学分野で盛んに用いられてきた。その意味は、障害児とその家族がより内発的な力を持ち、自らの生活を自らコントロールできること、また、できるようになるプロセス、と要約される。

発達に問題を有する児を養育する親と家族を支援する子育てプログラムには「前向き子育てプログラム(以下、トリプルP)」や「Nobody's Perfect プログラム」、「ペアレント・トレーニング」等がある。

日本では 1999 年、障害者介護等支援サービス指針の中でエンパワメントという概念が示され、障害児と家族に対する「全体としての家族(family as a whole)」という考え方が普及し、彼らの生活の質(QOL)を保証するための様々な条件整備がなされてきた。

しかし個人-家族-地域社会のダイナミズムのなかで家族を一単位として捉え、そのエンパワメントに焦点を当てた研究は非常に少ない(1983~2013: 医学中央雑誌)。

2. 目的

本研究では発達障害児を養育中の主たる保護者を対象に、オーストラリアで開発され、世界 15 カ国以上で翻訳・実施されている親向けの子育て学習プログラム「トリプルP」⁹⁾(毎週 1 回、合計 8 回)を基盤とし、家族エンパワメントを高めるための「ペアレント・トレーニング」を実施する。

介入前後の評価ツールとして Family Empowerment Scale 日本語版をはじめとする計 5 つの尺度を使用して介入効果を測定し、介入評価を行う。

3. 実施内容

介入はつくば市と水戸市ほかで週 1 回、8 週間(全 8 回)行い、前半 4 回と最終回(全 5 回)は対象に直接会場に来ていただきグループワークのセッションを行い、後半 5-7 回(全 3 回)は電話でのセッションを行った。グループワークは親のみの参加になるため、前半 4 回と最終回(全 5 回)は託児を設置した。未就学児の親のみならず、就学児の親でも下の兄弟がいる場合には、利用を許可した。託児に関しては、大体 4~5 名の保育者を手配した。

介入前後の評価ツールとして、Family Empowerment Scale 日本語版(家族エンパワメントを把握する 34 項目)、Parenting Scale(子育ての特徴を把握する 30 項目)、Strength and Difficulties Questionnaire(児の問題行動の状況を把握する 25 項目)、Parental Experiment Survey(親として児の行動、子育てをどう感じるかを把握する 11 項目)、Depression Anxiety Stress Scale(親の抑うつ・不安・ストレスを把握する 42 項目)を使用した。

4. 成果

6 か月後までのデータをフォローできた 54 名の保護者の心理状態や養育への知覚、児の行動、家族エンパワメントの各アウトカムの介入前後の経時的変化を Table に示す。

親の心理状態は Depression Anxiety Stress Scale で測定したが、Depression のサブスケールと DASS 総得点は、介入効果が 3 か月間持続した(F = 4.23, p = 0.007, F = 5.21, p = 0.002)。

親として児の行動、子育てをどう感じているかを Parental Experiment Survey で測定したが、(1) mothers' perceived level of difficult behavior in their child (F = 14.69, p < 0.001)は低下し、(2) mothers' subjective perceptions of their parenting role; how rewarding (F = 4.34, p = 0.006)は上昇し demanding (F = 5.78, p = 0.001), stressful (F = 8.28, p < 0.001), depressive (F = 8.63, p < 0.001)は低下し、(3) mothers' confidence level in parenting (F = 9.91, p < 0.001)は上昇し(4) mothers' perceived level of support in their parenting role (F = 6.61, p < 0.001)は上昇し(5) mothers' degree of happiness with the relationship with their partner (F = 3.37, p = 0.020)も上昇した。

児の行動は SDQ scores で測定したが、emotional symptoms subscale (F = 4.77, p = 0.003), conduct problems subscale (F = 2.79, p = 0.042), difficult behavior subscale (F = 10.39, p < 0.001)の 3 サブスケール全てにおいて、有意な介入効果が得られた。emotional symptoms と conduct problems は介入後 3 か月まで difficult behavior は介入後 6 か月まで有意に低下していた。

親の子育ては Parenting Scale で測定したが、the laxness (F = 12.16, p < 0.001), the over-reactivity (F = 10.39, p < 0.001), the verbosity (F = 13.63, p < 0.001)と各サブスケール得点および PS 総得点 (F = 17.08, p < 0.001)ともに有意な介入効果が得られた。介入効果は 6 か月間持続し、機能不全的な養育を有意に抑制することができていた。

家族のエンパワメントは Family Empowerment Scale 日本語版で測定したが、FES の 3 つのサブスケール: family (F = 7.65, p < 0.001), service system (F = 4.10, p = 0.008), community/political (F = 4.58, p = 0.006)、と FES 総得点 (F = 5.03, p = 0.002)で有意な介入効果が得られた。介入効果は最低でも 3 か月間持続した。

上述したいずれのアウトカムも児の性別や居住地域による介入効果の差はなかった。主たる養育者が 2 か月間で計 8 回の子育てトレーニングプログラムを受講したことにより、養育者の心理状態や子育てに対する知覚はポジティブに変化した。それにより児の行動も落ち着き、家族のエンパワメントも有意に上昇したと考察される。本取り組みは H26 年度も引き続き本学の社会貢献プロジェクトの登録課題となっているので、今後介入を継続していきたい。

表 1 グループトリプルP (毎週 1 回、合計 8 回のプログラム)

セッション	内容	ワーク形式	時間
第 1 回	「前向きな子育て」とはどのような子育てかについて学び、子どもの行動の捉え方について話し合う	講義・グループワーク・ロールプレイ	2 時間
第 2 回	子どもと良好な関係をつくり、子どもの発達を促すための、10 のスキルを学ぶ		2 時間
第 3 回	対処が難しい子どもの行動をうまく扱えるようになるための、7 つのスキルを学ぶ		2 時間
第 4 回	対処が難しい子どもの行動が起こりやすい場面を想定し、その行動が起こらないように備えるための計画的な活動を学ぶ		2 時間
第 5 回~第 7 回	先の 4 回のセッションで学んだスキルを家庭でうまく活用できているかを話し合い、保護者自身がスキルを活用し工夫しながら子育てしていただけるようサポートする	自宅での電話相談	毎回 20 分程度
第 8 回	子どもの行動の好ましい変化について話し合い、プログラムで学んだスキルの復習を行う	講義・グループワーク・総括	2 時間

・前半 4 回はビデオとワークブックを使って、後半 4 回はワークブックを使って行う

・第 5 回~第 7 回は個別の電話相談で、保護者の都合のよい日時にファシリテーターが電話をかけ、家庭での子育てについて応じる

Table Results of repeated measures ANOVA on children, caregivers, and family outcomes

Scale	Score range	Time				Effect (time effect)		
		Pre Mean (SD)	Post Mean (SD)	3 months after Mean (SD)	6 months after Mean (SD)	F ¹	p-value	effect sizes
SDQ								
Emotional symptoms	0-10	2.98 (2.32)	1.98 (1.65)	1.87 (1.67)*	2.03 (1.97)	4.77	*0.003	0.081
Conduct problems	0-10	3.46 (2.19)	2.89 (1.83)	2.47 (1.87)*	2.79 (2.12)	2.79	*0.042	0.049
Hyperactivity	0-10	6.00 (2.65)	5.11 (2.29)	5.04 (2.33)	5.34 (2.17)	2.05	*0.109	0.037
Peer problems	0-10	4.94 (2.45)	4.19 (2.19)	3.84 (2.38)	4.39 (2.70)	2.26	*0.084	0.040
Difficult behavior	0-40	17.38 (5.89)	14.17 (5.10)**	13.22 (6.00)***	14.55 (5.95)*	6.52	<0.001	0.108
Prosocial behavior	0-10	4.07 (2.68)	4.50 (2.65)	4.87 (2.63)	4.89 (2.36)	1.31		0.272
PS								
Laxness	1-7	2.79 (0.49)	2.29 (0.64)***	2.22 (0.72)***	2.23 (0.64)***	12.16	<0.001	0.184
Over-reactivity	1-7	3.78 (1.17)	2.75 (1.21)***	2.84 (1.14)**	3.12 (1.19)*	10.39	<0.001	0.161
Verbosity	1-7	3.65 (0.98)	2.65 (0.84)**	2.81 (1.01)**	2.91 (0.96)***	13.63	<0.001	0.223
Total	1-7	3.27 (0.62)	2.50 (0.72)***	2.54 (0.78)***	2.63 (0.70)***	17.08	<0.001	0.240
DASS								
Depression	0-42	8.25 (8.33)	4.72 (5.84)*	4.00 (6.17)**	6.58 (7.32)	4.23	*0.007	0.100
Anxiety	0-42	5.51 (5.00)	3.74 (3.57)	3.29 (5.05)*	5.50 (5.53)	3.61	*0.022	0.065
Stress	0-42	12.45 (7.43)	7.96 (5.95)	7.51 (6.72)	11.39 (8.82)	5.52	*0.001	0.127
Total	0-126	26.22 (18.33)	16.43 (13.72)*	14.80 (16.98)**	22.97 (20.06)	5.21	*0.002	0.121
PES								
Parenting is difficult	1-5	3.38 (0.98)	2.60 (0.90)***	2.51 (0.83)***	3.14 (1.07)	14.69	<0.001	0.217
Parenting is rewarding	1-5	2.70 (0.97)	3.13 (0.90)**	3.27 (1.10)**	2.81 (1.14)	4.34	*0.006	0.076
Parenting is demanding	1-5	3.43 (1.05)	2.72 (1.10)**	2.93 (1.16)	3.27 (1.11)	5.78	*0.001	0.098
Parenting is stressful	1-5	3.39 (1.01)	2.63 (1.04)***	2.56 (1.01)**	3.16 (1.13)	8.28	<0.001	0.135
Parenting is fulfilling	1-5	2.87 (1.12)	3.72 (1.04)**	2.98 (0.93)	2.68 (0.78)	15.53	<0.001	0.227
Parenting is depressive	1-5	3.22 (1.21)	2.41 (1.11)**	2.42 (1.02)**	2.78 (1.17)	8.63	<0.001	0.140
Confidence in parenting	1-5	2.24 (0.90)	2.96 (0.72)***	2.78 (0.84)**	2.74 (0.75)**	9.91	<0.001	0.157
Support for parenting	1-5	2.67 (0.98)	3.39 (1.04)**	3.11 (0.82)*	2.82 (1.07)	6.61	<0.001	0.111
Agreement with partner regarding child discipline (n=51)	1-5	2.86 (0.99)	3.08 (1.06)	3.14 (0.89)	3.03 (1.00)	1.07		0.366
Support received from partner (n=51)	1-5	2.90 (1.03)	3.18 (1.09)*	3.19 (1.18)	3.05 (1.18)	1.09		0.356
Happiness with partner (n=51)	0-6	3.12 (1.25)	3.32 (1.24)	3.62 (1.23)	3.03 (1.13)	3.37	*0.020	0.063
FES								
Family	12-60	37.55 (6.22)	42.07 (7.12)***	41.98 (6.66)**	40.11 (7.09)*	7.85	<0.001	0.126
Service system	12-60	40.40 (5.29)	43.52 (6.41)***	43.29 (7.49)	43.55 (7.20)	4.10	*0.008	0.072
Community/political	10-50	25.71 (6.57)	27.85 (6.70)**	27.98 (7.08)	28.08 (6.38)	2.09		0.104
Total	34-170	103.65 (15.45)	113.44 (17.40)***	112.27 (17.76)**	111.74 (18.50)	5.03	*0.002	0.087

ANOVA adjusted for the baseline score at each measurement time.

*p < 0.05, **p < 0.01, ***p < 0.001.

F¹ statistic in repeated measures ANOVA adjusted for each baseline score.

ANOVA, analysis of variance; SD, standard deviation